

令和8年度 海外医療視察A研修団 研修計画書

<期 間>

令和8年11月29日(日) ～ 12月5日(土) 7日間



公益社団法人 全国自治体病院協議会

持続可能な地域医療への挑戦 — ドイツモデル視察

医師・看護師不足の深刻化、経営赤字の拡大、地域医療構想や病院再編への対応——自治体病院を取り巻く環境は、これまでにない厳しさを迎えています。現場の献身や努力だけでは乗り越えられない構造的課題に、私たちは真正面から向き合わなければならない時代に入っています。

本研修では、制度改革と公立病院の経営改善を進めてきたドイツの医療現場を訪問し、DRG 制度の実務運用、徹底した職種間の役割分担、人材確保と育成の戦略、医療 DX の具体的事例を学びます。単なる視察にとどまらず、現地医療関係者との意見交換を通じて、自院の将来像を描く実践的な示唆を得ていただきます。

外に学ぶことは、危機から目を背けることではありません。未来を守るための戦略的選択です。課題の先には、必ず可能性があります。地域医療を持続可能なかたちへと進化させる一歩として、本研修が皆様の新たな挑戦の契機となることを心より願っております。

研修のポイント

- 公立病院の経営改革の実際
- 医療人材確保と役割分担
- 地域医療連携モデル
- 医療 DX・効率化戦略
- 医療の質と安全管理
- 財政健全化と公的責任の両立
- 医療安全・リスクマネジメント



※写真はすべてイメージです



※写真はすべてイメージです

ドイツの医療制度

ドイツの医療制度は、公的医療保険を基盤とする社会保険方式を採用しており、日本と同様に国民皆保険体制を維持しています。国民の大多数は法定健康保険に加入し、高所得者などは民間医療保険を選択することができます。複数の保険者が存在し、一定の競争原理が働く点が特徴です。医療提供体制においては、外来診療は主に開業医が担い、病院は急性期医療に特化するなど、機能分化が明確に進められています。専門医の受診には紹介状が一般的であり、医療資源の効率的活用が制度として組み込まれています。

ドイツの医療から学ぶ

ドイツ医療で特に注目すべき点は「制度そのもの」よりも、その運用の徹底ぶりにあります。

まず第一に、病院の機能分化が明確である点です。外来は開業医、病院は急性期という役割分担が制度と実務の両面で徹底されており、限られた医療資源を集中投下する仕組みが確立されています。地域全体で医療を設計するという発想は、日本の自治体病院にとって大きな示唆となります。次に、診断群分類包括払い（DRG）制度の下での経営管理です。公立病院であっても経営効率が厳しく求められ、原価意識や病床機能の最適化が日常的に行われています。「公立だから守られる」という構造ではなく、公共性と経営責任を両立させている点は重要です。



令和8年度 海外医療視察 A研修団

(ドイツの最新医療技術から地域医療体制を見る)

月 日	発着地	時刻	交通機関	摘 要	食
2026年 11月29日 (日)	東京発 (経由地) ニュルンベルク着	午前 夜	航空機 航空機 専用バス	羽田又は成田空港集合。 欧州経由地にて航空機を乗り継ぎニュルンベルクへ。入国手続き後、専用車にてホテルへ。 【ニュルンベルク泊】	機
11月30日 (月)	ニュルンベルク滞在	午前 午後	専用バス	■ ニュルンベルク市立総合医療センター ニュルンベルク市が運営する総合病院で、救急、内科・外科・専門診療を幅広く提供する最大規模の医療センター ●市立病院ネットワークの一体運営モデル ●市(自治体)と病院経営層の役割分担 ●財務健全性をどう確保しているか ■ ニュルンベルク市最大の自治体病院ネットワーク。 2つの主要キャンパス(Nord/Süd)に分かれ、地域医療から高度医療まで一貫したサービスを提供している。 ■ ニュルンベルク市内視察 この時期にしか見られない世界一有名なクリスマスマーケットをはじめ中世から続く伝統ある、ドイツ史にとって極めて重要な都市である。 【ニュルンベルク泊】	朝 昼 夕
12月1日 (火)	ニュルンベルク発 (ローテンブルク) ミュンヘン着	午前	専用バス	ニュルンベルクよりミュンヘンへ移動。 途中、ドイツ観光のハイライトのひとつローテンブルクに立ち寄ります。中世の面影を色濃く残すロマンチック街道沿いの美しい街で、市壁に囲まれた旧市街の散策します。 【ミュンヘン泊】	朝 昼 夕
12月2日 (水)	ミュンヘン滞在	午前	専用バス	■ ルートヴィヒ・マクシミリアン大学病院 ドイツで最も大規模かつ代表的な大学病院のひとつで、ミュンヘンを代表する病院。 ●診療科間連携(インターディシプリナリーセンター) ●国際医療・患者支援システム ●臨床研究・教育システム ■ 腎臓病・腎移植・透析治療等、すべての主要な臓器移植手術を実施できるトランスプラント部門が対応している。 【ミュンヘン泊】	朝 昼 夕
12月3日 (木)	ミュンヘン滞在	午前	専用バス	■ ミュンヘン・クリニック・ボーゲンハウゼン ミュンヘン北東部に位置する総合病院。地域医療に根ざした医療提供モデルを見る。 ●地域中核病院の運営について ●救急医療・入院患者管理システム ■ がんセンター、小児集中治療 Unit、胸痛 Unit(心臓迅速対応)、Stroke Unit(脳卒中集中治療) など先進的医療が提供。 【ミュンヘン泊】	朝 昼 夕
12月4日 (金)	ミュンヘン発 (経由地)	午前	航空機	ミュンヘンを出発。経由地にて航空機を乗り継ぎ、空路、帰国の途へ。 【機中泊】	朝 機
12月5日 (土)	東京着	午前	航空機	帰国手続き及び通関後、解散	機

※この日程表は2026年1月に作成致しております。日程に記載の航空機便名、発着時間、訪問先、研修テーマ等は最終的に変更になる場合がございます。

※今年度はドイツ、2027年はフランス、2028年スウェーデンを予定しております。

令和8年度 海外医療視察A研修団

1. 訪問国 : ドイツ連邦共和国
2. 期間 : 令和8年11月29日(日)出発～12月5日(土)帰国 7日間
3. 経路 : 東京⇒ニュルンベルグ⇒ミュンヘン⇒東京
4. 視察目的 : 諸外国における病院医療の実態及び医療施設・設備の現状を視察し、相互に意見交換を行い、病院医療の向上に寄与する。
5. 訪問病院 : 各地の特徴ある、医療水準の高い病院の見学を行う。
6. 総経費 :

参加費用		
参加者数	(会員)	(非会員)
15名様以上	¥543,000.-	¥546,000.-
10～14名様	¥599,300.-	¥602,300.-
5～9名様	¥803,800.-	¥806,800.-

※上記費用に燃油サーチャージ及び空港諸税が別途かかります。

(2026年6月現在 ¥149,750)

※参加者数が5名様未満の場合は上記研修を実施出来ない場合もありますので、予めご了承下さい。

※奇数人数のためお一人部屋を利用する場合、シングルルーム追加料金がかかります。

※昨今の大幅な為替相場の変動、空席連動制による航空運賃の変動、急な物価高の上昇などの理由により出発前に旅行費用が変更となる場合があります。

7. 参加申込方法 : 各研修団への参加をご希望の場合、以下の手順でお申し込み下さい。

- ①「海外医療視察研修団 参加希望届」に必要事項を記入し、参加希望届送付先にご郵送又はFAXにてお送り下さい。(控えとしてコピーを残して下さい)
- ②締切日以降、各研修団の旅行取扱会社より、旅行参加申込書、旅行業約款、旅行条件書〔研修費用に含まれるもの、含まれないもの・旅行取消し〕ならびに『渡航手続の案内』をお送りいたします。旅行条件内容を熟読の上、旅行参加申込書を旅行取扱会社へご郵送ください。旅行取扱会社が、「旅行申込書」を受理した時点で正式な研修団申込となります。
- ③お申込受理後に、全国自治体病院協議会より参加決定通知を、旅行取扱会社より請求書をお送りさせていただきます。

8. 希望届締切日 : 2026年9月29日(火)

9. その他 : 参加人数が5名に満たない場合、旅行費用等を協議したうえで実施する場合があります。

10. キャンセルについて

旅行参加申し込み後、お客様のご都合で旅行を取り止める場合は取消し料がかかります。

*30日前～3日前までの場合・・・費用の20%

*2日前～出発前日までの場合・・・費用の50%

*旅行開始後の取消の場合・・・費用の100%

11. 規約事項

旅行中天災事変、火災、政府及び公共団体の命令、政変、ストライキ、戦争、暴動、流行病、隔離、税関規則等不可抗力の事由により生じた損害、盗難、詐欺、暴行、傷害等会社及び旅行会社の責任外の事故による損害または参加者が諸法令、或いは公序良俗に反する行為のための生じた損害については責任を負うことは出来ません。なお航空機、鉄道船舶などの運輸機関の運賃変更、スケジュールの変更があった場合、その他止むを得ざる事情があった場合などは、経費・日程を変更する場合があります。その他の規約事項は弊社旅行業約款によります。個人情報保護法にもとづき、申込書に記載された個人情報について、お客様との連絡のために利用させていただくほか、旅行サービスの手配及びそれらのサービスの受領のための手続きに必要な範囲以内で利用させていただきます。また、当社の提携する企業の商品やサービスのご案内、旅行参加後のご意見やご感想の提供のお願い、アンケートのお願い、海外旅行のご案内等にお客様の個人情報をご利用させていただくことがあります。